

## 議会ICT推進研究会からの報告書

令和5年4月12日  
議会ICT推進研究会

1月13日の議会運営委員会で反省事項として挙げられた点について検討を行う必要が生じたため、議会ICT推進研究会は、1月から2月にかけて以下3点について各会派に確認を行いました。

- ① ペーパーレス会議システム「サイドブックス」のデータ容量を確保する方法について
- ② 貸与されたタブレット端末（iPad）以外の端末の会議での使用について
- ③ iPadの活用方法について

各会派からの意見を集約した上で、議会ICT推進研究会として協議を重ねて分析を行いましたので、次のとおり報告いたします。

### 1 ペーパーレス会議システム「サイドブックス」のデータ容量を確保する方法について

#### 報告①

東京インタープレイ社が新たに提供する「サイドブックス」の5GBのプランを採用し、契約に必要な費用（25,000円×12月＝300,000円）を補正予算として要求する。

- ・ 5GBのプランを採用した上で、2年間は会議データを保存し、議員の希望に応じて会議データをDVDなどで提供する方法も併用する。
- ・ 会派としては、過去の資料を見られれば良い。
- ・ 議員の事情ではなく、事務局の負担軽減となるならば、容量増加で良い。

### 2 貸与されたタブレット端末（iPad）以外の端末の会議での使用について

#### 報告②

貸与されたタブレット端末（iPad）以外の端末を使用する場合は、「飯田市議会の会議等における情報通信機器の使用に関する規程（令和3年1月13日議会運営委員会決定）」第3条第1項の規定により、会議の長の許可を得るものとする。

- ・ 規程に例外を認める改正は行わず、実務上の運用を統一することで対応する。

#### 報告③

スケジュール管理などでやむを得ず個人の端末を使用する場合は、会議の長が会議を閉じた後に使用する取扱いとして統一する。

- ・ スケジュール管理のために個人の端末を利用することは、市民から見れば、会議の本来の目的からは外れるため、会議を閉じた後に個人の端末を利用する取扱いとして統一する。

#### 報告④

会議中にメッセージアプリを使用するなど、明らかに不適切なスマートフォンの利用をしている場合は、公開の会議では市民が見ていることを認識し、気が付いた議員が指摘をする。

- ・ 市民から指摘されれば議員の信頼は失墜する。
- ・ 会派を越えても気づいたら言える人間関係が大切である。

### 3 iPad の活用方法について

#### 報告⑤

iPad の端末ごとに割り振られている iCloud (アイクラウド) メールアドレス について、使用を希望する議員には個人のメールアドレスの送信先に加える。

- ・ iCloud メールと携帯メールやPCメールの並存が可能である。
- ・ プライベートな用途で当該アドレスを使用するとウイルス感染の危険が生じるため、「飯田市議会におけるタブレット端末の使用に関する申し合わせ事項」(令和3年2月17日 議会運営委員会決定)の規定に基づいてiPadを使用する必要がある。

#### 報告⑥

Youtube の一般質問などの議会中継動画の活用や各議員の編集権限の付与については、議会活動の広報に関わるため、広報広聴委員会で研究されたい。

- ・ 現状では、一般質問については30分以上の長尺であるため、各議員が議会活動のために動画を二次利用する場合は、編集権限が必要になる。

#### 報告⑦

Google カレンダーによる議会日程の共有については、実装可能な時期に至った場合に少数のメンバーによる試行期間を挟み、全議員への周知を図る。議会事務局のみが議会日程の編集権限を有し、議員は閲覧権限のみとする。

- ・ Google カレンダーはiOSとAndroid OSともに汎用性が高く、議員が個人で使用しているスケジュール管理アプリとも併用が可能である。
- ・ 事務局のエクセルによる一括管理(従来の方法)と並走させて、やはり従来の方法が良いということになれば、元の方法に戻ってもよい。

#### 報告⑧

セキュリティに配慮した上で、インターネット上のクラウドストレージである Google ドライブ を利用することにより、正副委員長が行政評価や所管事務調査をまとめる際に活用することが可能となるが、デジタル技術に苦手意識がある議員を交えて試行を行い、全議員での利用に向けた手法を探る。

- ・ 行政評価や所管事務調査で正副委員長がまとめてきたものを委員と共有する際に、事務局を介してという方法をとっていたが、Google ドライブを活用すれば仮想の打ち合わせが可能になる。
- ・ 実際の運用に当たっては、少人数で試行してみても研修を挟むなどしてから取り組んでみてはどうか。研修の講師としては、iPad導入時の飯田ケーブルテレビ社員、庁内の情報システム担当者などを想定する。

### 報告⑨

Instagram、Twitter、Facebook などによる議会活動の発信については、議会活動の広報に関わるため、広報広聴委員会で研究されたい。

- iPad の利用方法として技術的に可能性はあるが、広報広聴委員会の所管事項となるため、運用は同委員会に委ねたい。

### 報告⑩

市民に対して議会活動を伝える手段として iPad を活用している好事例があれば、全議員で共有する。

- iPad の使用で最も重要なことは、持ち歩いていかに市民の皆さんに議会活動を知っていただくかということなので、議員が実際に市民に対して活用している方法を共有してはどうか。

以上